学校番号	3020

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の家庭基礎（２単位）で身につけた基礎的・基本的な知識と技能を土台とし、２単位では取り扱いきれなかった深い内容を実践的・体験的な活動を通して学ぶことで、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力をさらに総合的に身につけることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】生活を主体的に営むために、健康で快適な衣生活、健康や環境に配慮した食生活、防災などの安全や環境に配慮した住生活、乳幼児や高齢者との適切な関り方などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、身につけた知識及び技能を活用して解決策を構想し、その実践を評価・改善し、考察したことを表現する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】様々な立場の人と協働し、持続可能な社会の構築に向けてよりよい社会を創造するために、自らの学習状況を把握し、振り返って改善し、自らの学習を調整しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や保育、環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけているか。	生涯を通して、家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけているか。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて。課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活	Ⅰ布の成り立ち 1. 3 通りの成り立ちを復習 2. 織物について ①構成の理解 ②織機でコースターの制作	a: 布の成り立ちを理解し、正確なサイズ、バランスで作品制作ができたか。 b: たて糸と横糸の色選びや組み合わせで出来上がりのイメージが変わることを考えてオリジナルの作品制作ができたか。 c:知識を生かして創造や工夫を加えながら作品制作ができたか。	作品 ワークシート	作品	作品
	食生活	調理実習を行いながら、調理技術、調理理論、食材に関する知識を学習する。実習で扱う食材や調理方法について調べ、レポートにまとめる。 ・きゅうりの切り方テスト(包丁の使い方、様々な切り方、飾り切り) ・だし巻き卵・味噌汁(だし汁のとり方、うま味について) ・フレンチトースト・フルーツヨーグルトサラダ(卵について、食材の褐変) ・ミートソースパスタ・コンソメスープ(小麦粉について、パスタのゆで方) ・豚肉の生姜焼き・かきたま汁(肉類について、片栗粉のはたらき) ・ビビンバ・わかめスープ(緑黄色野菜について、旬の野菜について)	a: 包丁の使い方や食材の切り方の正確さ。調理理論を理解して、手早く作業できているか。 b:理論と実践が結びついているか。自身の生活や社会情勢などから自ら気づいた視点で調べ学習ができているか。 c: 班員と協働して実習を進めることができるか。毎回目標や課題を確認し合い、対策や取り組みを行えているか。	実習 実技 レポート	実習 レポート	実習 レポート

	衣生活	3. 羊毛フェルト刺繍 ①不織布について ②トートバッグに刺繍する ③オリジナル刺繍ワッペンをつくる	a:羊毛の特性やフェルト化の原理を理解し、フェルト刺繍を正確に実現できたか。 b： 羊毛刺繍にふさわしいデザインを考え、またそのデザインに合わせた技法をつかって刺繍できたか。 c：刺繍ならではの細かい表現や、色選び、デザインのオリジナル性で個性を表現できたか。	制作実習	制作実習 ワークシート 実習レポート	制作実習 ワークシート 実習レポート
3学期		4. 浴衣制作 ①和服	a:和服の構成について、用語や意味を理解できたか。ロックミシンについて理解し、正確に使用できたか。丁寧にしるしを合わせて正確に縫製することができたか。 b： 工程ごとの注意するべきポイントを理解することができたか。 c:制作手順や作業工程の意味を理解し、自ら効率的に作業する方法を考えられたか。	制作実習	制作実習 ワークシート 実習レポート	制作実習 ワークシート 実習レポート
	住生活	Ⅲ住まいの計画 ライフステージ、安全性、快適性、趣味や個性の表現、など様々な要素を勘案して、間取りの作成を行う。 立体模型を作成し、実際にその間取りの住居に住まうイメージや、問題点に気づかせる。	a: 人と住まいとのかかわりや，住まいの機能について理解したうえで、家族のライフステージや状況に合わせた，適切な住まいについて計画する。 住居の平面図を正確に製図できたか。 b: 日本の住宅事情や現代社会の住居に関する課題を理解し，持続可能な住まい方の工夫について考えられたか。 c: 平面図や立体模型から、安全で快適な住生活のための問題点や改善点に気づき、対策を具体的に考えられたか。	平面図制作 立体模型製作	ワークシート 平面図制作 立体模型製作 実習レポート	ワークシート 平面図制作 立体模型製作 実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度